

# 一般質問 12人が市政を問う

## 芸妓文化の要 地方(じかた)の育成を!



10番  
服部 秀洋 議員

「湯之花芸妓連」は数少ない芸妓をまとめ、本業の座敷も少ない中、副業などをこなしながら運営されている。又、肝心な地方(じかた)長唄・鳴り物等)は皆無で、育成にも多大な経費が必要だと聞く。伝統芸能保存のためにも支援策が急務だと思いがががが。

### ◆市長

芸妓芸能伝承育成事業として、現在補助金による支援を行っています。旅行の形態も変化し、本来のお座敷での活躍の場が減っているのが現状です。昨年2名の舞妓が誕生しましたし、今後舞妓を目指したい人がいるとも聞いています。来年度は、芸妓、舞妓による街歩き案内や、おもてなし事業を行い、活躍の場を提供することに努力をし、芸妓文化の浸透を図っていきます。

市立病院の完成に加え26年には県立病院も完成する。今後の運営を考慮すると共に、交流人口の増加を

はかるためにも、介護ロボットを導入し、モデル地区にできないか。

### ◆健康医療部長

急速な高齢化の進展により介護ニーズが益々増大する中、介護ロボットについては、介護される側の声や直接現場で介護に携わる職員の意見等を十分反映させながら、連携して検討していくべき課題と捉えています。

濃飛横断自動車道を含め、リニア新幹線開通までに基盤整備を行うための計画立案が急務だと思いがががが。

### ◆市長

リニア中央新幹線の開業までには、濃飛横断自動車道として、東海北陸自動車道から中津川に予定されているリニア中間駅までの道路整備がなされるよう、中津川市・郡上市など周辺自治体や関係団体と共に国土交通省などへ要望活動を行っています。リニア中間駅が岐阜県の東の玄関になるので、県の広域観光を考え周辺地域と連携をしながら、下呂に滞在時間を多くするために、観光計画により各地域の宝を更に磨き、まちづくりを進めていきたいと考えます。

## 下呂・金山間のバス運行決定!



4番  
今井 政嘉 議員

### 整備が整ってきた下呂ネット

①転入などによる新規加入者への負担軽減対策は

### ◆総務部長

サービス開始時には初期費用が無料となる期間を設けてきましたが、23年度から加入促進対策として期間を定めて割引キャンペーンを行っています。番組審議会等の意見をふまえて検討してまいります。

②地元企業の地域密着型のCM等や、「地域住民が主役」となるような番組作りを行い、更に防災情報・広報活動などの充実を求める。

### ◆総務部長

CMについては、現在放送ルールの整備を進めており、25年度の運用開始を目指しています。番組制作に当たっては、市民のニーズをくみ上げながら地域情報の発信を行い親しみやすい番組づくりに努めています。今後はデータ放送を活用した防災情報の発信を取り入れたいと考えています。

### 下呂・金山間のバス運行の進捗状況は

①下呂中原地区と金山地区を結びバスの展望は

### ◆経営管理部長

地元住民の要望に答えるため検討してきた結果、「デマンド下呂」の路線組み替えなどを行い、4月から週2往復中原から金山へデマンド方式で走らせる計画です。

②公共交通でカバーできない交通弱者対策の展望は

### ◆経営管理部長

バス停までの距離があり利用できない方や、家族の送迎が期待できない同居高齢者などの「移動制約者」については、福祉部で調査を実施し検討を始めました。

### ふるさと納税制度を有効に

活用して下呂市の宣伝を!

他の自治体では、この寄附制度を有効に活用し地場産業振興に大いに役立てている。市の取組みと今後の展望は

### ◆経営管理部長

25年度には特産品のPRを目的としたホームページを立ち上げる準備をしており、そのホームページの運営協力事業者と協力し特産品振興をする中で、ご提案の特産品の特典についても検討していきます。

介護施設の防火対策について



5 番  
各務 吉則 議員

①市内にある介護施設は防火対策が取られているか。また調査、把握はされているか。

◆消防長

市内には介護施設に属する施設が25箇所あります。消防本部では年に1回は立ち入り検査を実施していますので、些細な不備も確実に是正されるよう指導を行っております。

②サービスタ付高齢者向け賃貸住宅の防火対策の調査、把握はされているか。

◆消防長

介護サービスタを伴う高齢者向け賃貸住宅は1施設あり、介護施設同様の対応をしています。

③施設の開設法人に対して補助金等どのような公的補助があるのか。

◆福祉部長

スプリンクラーの整備や火災通報装置の設置に対する国や県の助成制度があります。こうした助成の積極的な活用を指導し、安心安全な環境づくりを進めます。

下呂市の重要課題に対する方向性を



2 番  
今井 政良 議員

ふるさと納税制度の拡充について

寄附金の使途については5つのメニューがあるが、各地域出身者が寄附した場合、出身地域のまちづくりのための資金になるような地域枠を作る考えはないか。

◆経営管理部長

現在「地域げんき未来塾」を開催し、地域力の強化に向け着実に動き始めています。市内全域で地域ごとの活動が行えるような体制が整った時点で、地域での各種活動やまちづくり事業に活用できる地域単位への寄附を設定したいと考えます。

◆まちづくりセンター

地域げんき未来塾の開催のあり方と、各振興事務所ごとに新たな地域振興予算（地域枠予算）とは

◆経営管理部長

「地域げんき未来塾」は市民の皆さんでまちづくりを考えていただき、自主自立や互助共助など、地域自治に関する意識を高めていくための話し合いの場で、地域ごとの課題解決を行う組織の立ち上げを目指して取り組んでいます。

地域枠予算については25年度にも予算化していますし、また、地域振興事業補助金を活用してまちづくり組織の立ち上げなどまちづくりに関わる補助として活用していきます。

下呂市の重要課題に対する方向性を

④市としての少子化対策の考えは

◆経営管理部長  
子どもの増加につなげるため、子育て支援対策を積極的に推進しています。また出会いの場づくりとして結婚相談業務を専門業者に委託しています。

清流の国ぎふ・環境税を

活用した市の取組  
平成24年度の事業内容と効果は。また、平成25年度の取組みは

◆農林部長

24年度は人工林や里山の整備、木製機の導入などを行いました。初年度なので十分な効果を得るまでには至っていません。25年度は引き続きこれらの事業を実施する他に、地域団体が企画して実行する里山散策路の整備などを行います。

◆新クリーンセンター建設について

5年が経過する中、住民の反発で断念を繰り返したが、今後の対応について

◆市長

合併以来の重要課題であるが、候補地が決まっていない状況です。公表は出来ませんが、数ヶ所有志の方々が自主的に検討をされていると聞いています。こういった動きを注視し決定していきます。

①県立下呂温泉病院の産婦人科医師確保について

◆健康医療部長  
医師の体調不良により分娩が休止となりましたが、病院助産師を始めスタッフ間で協議し、妊婦さんに病院変更に伴う必要な手続きや相談にあたり不安解消に努めました。

②児童・生徒の通学路の安全対策は

◆教育長  
通学路の安全確保のため、各学校ごとに通学路の点検等を定期的に行っています。各関係機関と連携を深めながら、安全確保に努めてまいります。

③在宅介護者の現状と、老人福祉施設の現状、今後の対応について

◆福祉部長  
要介護認定者の多くは認知症で、認知症の特性に対応したケアの確立が課題です。施設の入所待機者はいませんが、整備は在宅サービスとのバランスを図り進めます。